

平成28年度 学校評価の集計結果と考察及び対策

1 学校評価のねらい

- ①日ごろの学習活動とおした児童の自己評価を実施し、指導者としての教職員全体の支援のあり方や指導の方法を振り返る材料とする。
- ②学校教育目標の具現化に向けた取組を職員が評価することをおして、学級・学年経営の反省と今後の課題を明確にする。
- ③日常の学校教育全体を保護者や地域の方々に評価していただく機会を設け、学校教育目標の反省と今後の課題を明確にする。
- ④児童、保護者及び地域の方々の評価をもとに改善策を立案し、学校教育目標のさらなる具現化に資する。
- ⑤改善策を南っ子サポート会議においても協議していただく機会を得ることをおして、学校運営全般に対して助言をいただき、よりいっそうの支援を賜る。
- ⑥学校評価の結果をホームページ上に公開し、開かれた学校経営と地域に根ざした学校づくりに資する。

2 学校評価の内容

- ①児童による自己評価
- ②職員による自己評価
- ③保護者による学校関係者評価
- ④南っ子サポート会議委員による評価
- ⑤南っ子サポート会議での改善策の協議

3 実施の流れ

平成28年12月26日（月） 職員会議 学校評価実施計画提案
12月15日（木） 南っ子サポート会議 地域の方への説明
平成29年 1月16日（月）～20日（金）
児童による自己評価 保護者による評価
職員による評価 地域による評価（南っ子サポート会議メンバー）
1月23日（月）～2月1日（水） 評価の集計と考察、改善策策定
2月 2日（木） 南っ子サポート会議 改善策の協議・決定

4 集計の結果

回収率	児童	100%
	保護者	98%
	職員	100%
	地域	82%

5 概要

①評価の平均点をもとに集計した結果

		地域			保護者			職員			児童			全体		
	評価内容	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
1	学校教育目標	3.5	3.3	4	3.3	3.2	3.4	3.3	3.7	3.7	3.6	3.6	3.8	3.4	3.5	3.7
2	命の大切さと思いやり	3.6	3.7	4	3.4	3.3	3.5	3.8	3.8	3.8	3.5	3.6	3.7	3.6	3.6	3.7
3	いじめのない学校	3.5	3.6	4	3.3	3.2	3.3	3.8	3.8	3.7	3.3	3.3	3.5	3.4	3.5	3.6
4	人権教育	3.3	3.6	4	3.3	3.2	3.4	3.6	3.7	3.7				3.4	3.5	3.6
5	分かりやすい授業				3.4	3.3	3.4	3.4	3.3	3.2	3.7	3.8	3.7	3.5	3.5	3.4
6	きまりやマナーの指導	3.5	3.6	4	3.5	3.5	3.6	3.9	3.6	3.6	3.8	3.9	3.9	3.7	3.6	3.7
7	誠意のある相談対応				3.5	3.4	3.4	3.7	3.3	3.6	3.6	3.6	3.7	3.6	3.4	3.6
8	地域の行事への参加	3.1	3.3	4	3.2	3.3	3.4	2.8	2.7	3.1				3.0	3.1	3.4
9	好ましい友達関係	3.0	3.3	3	3.6	3.5	3.5	3.3	3.0	3.2	3.7	3.8	3.8	3.4	3.4	3.4
10	返事やあいさつ	2.7	3.1	3	3.3	3.2	3.2	2.8	2.9	2.8	3.4	3.5	3.5	3.0	3.2	3.2
11	読書				2.7	2.8	2.9	2.8	3.0	3.3	3.0	3.3	3.3	2.8	3.0	3.2
12	学習の基礎基本定着				3.1	3.0	3.1	2.8	2.9	3.0	3.3	3.5	3.5	3.1	3.1	3.2
13	相手に伝える表現力				2.9	2.9	3.0	2.6	2.7	2.8	3.2	3.2	3.3	2.9	3.0	3.0
14	清掃活動	3.8	3.6	4	3.3	3.3	3.4	3.0	3.3	3.1	3.4	3.6	3.7	3.4	3.5	3.5
15	掲示教育	3.6	3.5	4	3.6	3.6	3.7	3.5	3.3	3.3				3.6	3.5	3.6
16	安全環境	3.8	3.6	4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.3	3.6	3.4	3.5	3.7	3.5	3.5	3.6
17	地域の教材や人材	3.4	3.4	4	3.4	3.5	3.6	3.5	3.7	3.9				3.4	3.6	3.8
18	情報公開	3.5	3.6	4	3.4	3.5	3.6	3.6	3.3	3.3				3.5	3.4	3.6
19	ゲームやパソコン				3.1	3.0	3.1	3.5	3.2	3.3	3.5	3.5	3.5	3.4	3.2	3.3
20	PTA活動への寄与	2.5	3.1	3	2.9	3.0	3.2	2.6	2.9	3.3	3.5	3.5	3.6	2.9	3.1	3.3
平均		3.3	3.4	3.6	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3	3.4	3.5	3.6	3.6	3.3	3.4	3.5

	ここ4年間で最高値
	ここ4年間で最低値
	過去最高で昨年よりよくなった
	昨年度よりよくなった
	昨年度より悪くなった

②回答類型別に集計した結果 【高評価（４，３と回答）低評価（２，１と回答）】 地域と保護者のみ

		地域						保護者					
		高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低
		H26		H27		H28		H26		H27		H28	
1	学校教育目標	92%	8%	93%	7%	100%	0%	96%	4%	97%	3%	97%	3%
2	命の大切さと思いやり	92%	8%	93%	7%	100%	0%	97%	3%	94%	6%	98%	2%
3	いじめのない学校	100%	0%	86%	14%	100%	0%	93%	7%	90%	10%	93%	7%
4	人権教育	92%	8%	93%	7%	94%	6%	94%	6%	93%	7%	95%	5%
5	分かりやすい授業							92%	8%	92%	8%	90%	10%
6	きまりやマナーの指導	92%	8%	100%	0%	94%	6%	96%	4%	96%	4%	94%	6%
7	誠意のある相談対応							93%	7%	89%	11%	93%	7%
8	地域の行事への参加	77%	23%	79%	21%	94%	6%	88%	12%	92%	8%	94%	6%
9	好ましい友達関係	92%	8%	93%	7%	88%	13%	96%	4%	93%	7%	95%	5%
10	返事やあいさつ	69%	31%	86%	14%	81%	19%	88%	12%	87%	13%	87%	13%
11	読書							60%	40%	64%	36%	66%	34%
12	学習の基礎基本定着							83%	17%	81%	19%	83%	17%
13	相手に伝える表現力							73%	27%	72%	28%	73%	27%
14	清掃活動	100%	0%	93%	7%	100%	0%	96%	4%	95%	5%	95%	5%
15	掲示教育	100%	0%	86%	14%	100%	0%	100%	0%	99%	1%	99%	1%
16	安全環境	100%	0%	93%	7%	93%	7%	96%	4%	94%	6%	98%	2%
17	地域の教材や人材	92%	8%	86%	14%	100%	0%	97%	3%	97%	3%	98%	2%
18	情報公開	100%	0%	93%	7%	100%	0%	96%	4%	94%	6%	95%	5%
19	ゲームやパソコン							82%	18%	73%	27%	81%	19%
20	PTA活動への寄与	58%	42%	86%	14%	88%	13%	77%	23%	81%	19%	89%	11%
平均		90%	10%	90%	10%	95%	5%	90%	10%	89%	11%	91%	9%

	ここ４年間で最高値
	ここ４年間で最低値
	過去最高で昨年よりよくなった
	昨年度よりよくなった
	昨年度より悪くなった

6 結果

- 学校評価は、「地域」「保護者」「職員」「児童」の4者が同じ項目について評価する方法とし、評価項目は「学校全般」「学校の指導」「子どもの実態」「その他」の4つに分けた。比較する方法として「平均点」と「回答類型」を選択した。
- 同じアンケート方法で行った学校評価が4年目となり、経年比較を行った。
- 緑は、昨年度よりよくなった項目のうち、過去最高を記録した項目である。地域では8項目（14項目中）、保護者では16項目（20項目中）、職員では7項目（20項目中）、児童では8項目（15項目中）が当てはまった。
- 黄色は、過去最高値を記録した項目である。地域・職員では3項目、児童では6項目が当てはまる。
- 職員では、4項目で過去最低値を記録したが、その他の評価者からは、過去最低値はなかった。
- 昨年度より悪くなった項目は、「わかりやすい授業（児童）」「返事やあいさつ（職員）」「清掃活動（職員）」であった。
- 平均点と回答類型の相関関係から見ると、「いじめのない学校（職員）」の過去最低値は、高評価内における結果である。
- 「わかりやすい授業」については、回答類型において、職員児童ともに高評価が過去最高値である。
- 「誠意ある相談対応」は、保護者児童ともに、高評価が昨年度を上回った。
- 「読書活動」「学習の基礎基本の定着」については、平均点・回答類型ともに確実に評価が上昇しているが、他に比べると低い。
- 「相手に伝える表現力」については、保護者や職員はその伸びを感じているが、児童はあまり感じていない。
- 「地域行事への参加」「PTA活動への寄与」は平均点・回答類型ともに、すべての評価者において過去最高であった。

7 考察

- 全体的に見ると、学校に対する地域や保護者の関心が高まるとともに、評価も高くなってきた。
- 今年度は、平均点の伸びが著しいことが、回答類型の伸びからもよく分かる。
- 「わかりやすい授業」「あいさつ」「読書活動」「相手に伝える表現力」は特に重点的に取り組んできたが、「あいさつ」には課題が残った。
- 「あいさつ」については、子どもたちの意識は確実に高まったことが回答類型に現れたことから、学校での指導は一定の成果を見せていると考えられる。
- 「読書活動」については、平均点的にはまだまだ課題が残るが、保護者・児童ともに伸びが見られることから、学校司書や図書ボランティアの方と協力しながら地道な活動を続けてきた成果である。
- 「あいさつ」「読書活動」については、平均点的にはまだ伸びる可能性をもっている。
- 「地域行事への参加」「PTA活動への寄与」については、PTAの活動を支援しながら、地域に開かれた特色ある活動を仕組むことで、学校全体が力強く前進していることがわかる。

8 対策

- 全体的に評価が高く、それぞれの立場で子どもたちの課題に対する意識が高まってきていることを感じる。今後はさらに重点課題を絞って提示し、学校、地域、家庭が共通理解のもとで子どもたちを指導する取組を進める必要がある。
- 「読書活動」の更なる充実を図るために、「校内読書活動」と「家読」を連動させるような手立てをとる。
- 「人権教育」「安全環境」は、子どもたちの安心安全を支える重要な要素であることを考えると、評価は高いが、さらに高い志をもって、学校づくりに取り組まなければならない。そのためにも、南っ子サポート会議としては、これまで行ってきた「あいさつ運動」と「通学路安全点検」については、定期的な取組として今後も続けていく。